

誤譯・意譯

赤谷慶子

この数週間、フェイスブックの「友達」間にて頻繁に交信せらるるは、米大統領選挙の敗北を認めざりしトランプ氏につきて、意見を聞かれたる次期大統領バイデン氏のコメントなり。バイデン氏は「I just think that it's an embarrassment, quite frankly」と回答せられたりとす。日本の大多数のメディア、これを「恥づべき事」と報じたり。それを誤訳なりと感ずる人たち多く、「困りしものなり」、もしくは「厄介なり」及び「当惑なり」に当たると指摘す。然るに吾は「恥づかしといふ状態」抜け落ちたりと思へば、「はしたなし若しくはかたはらいたし」最も腑に落ち。日本有数の通訳者は日本語にて「恥」と「恥づかし」は語感異なると考へたるらむ、「恥」と言はんには、むしろ *shame* を用ゐるべく、バイデン氏言ひたるは「困りしものにて、恥づかし」に近しと言ひたり。

これに関連し話題になりしは、オバマ元大統領の回顧録に於いて鳩山由紀夫元首相を「pleasant, if awkward」と表現したる事なり。日本の一部メディアは「迷走せし日本政治の象徴」及び「感じは良きもやり難し」「厄介なる同僚」などと酷評せられたりと受けとめ報道したり。Awkward はぎくしゃく、不器用、気まずい等の意味あり。その前に「感じ良し」と表したれば、けだし会話に齟齬を來したるか、もしくは居心地快からずと評したるにあらずや。いづれの言語にても言葉の意図せる表現は難く、受け止むる側にていささか異なるが如くに思ひたり。その場の雰囲気にて理解するを得れど

も、時経るに及びて言葉のみ残留し、当時の状態および雰囲気は消滅すれば、意思疎通なほさら難し。

(令和二年十一月二十八日受附)